

執筆環境

ソフト名	バージョン	補足
Typst	0.14.2	TYPST_FEATURES=html
Zotero	8.0.4	—

はじめに

Typst の bib は BibLaTeX に加えて Hayagriva という形式をサポートしています。Hayagriva というのは Typst が開発している文献管理用の形式で、YAML で表現されます。

論文等を書くなら BibLaTeX の方が色々便利なのでしょうが、私のように Markdown より表現力のあるマークアップ言語として Typst を使用している人からすると Hayagriva(というか YAML)の方が色々扱いやすいため好ましいです。

しかし私が使用している文献管理サービスである Zotero は Hayagriva でのエクスポートをサポートしていません。¹ hayagriva cli を使用して機械的に変換することも考えましたが、もともと Web サイトを Zotero で管理していると bib でエクスポートしたときにキーが noauthor と nodate だらけになることに不満を覚えていたこともあり、拡張機能を作ることにしました。

実装

実装は Zotero の Export translator を追加する形で行います。Translator について詳しいことは公式サイト²の解説を参照して下さい。

作業は基本的に Zotero のメタデータを Hayagriva のメタデータに翻訳していくものになります。

¹Hayagriva の直接エクスポートをサポートしている OSS の文献管理サービスとしては JabRef というものがあり、ソフトそのものの使用感は悪くないです。しかし、JabRef Browser Extension(JabRef 版 Zotero Connector)が Manifest V2 でアプデの希望もなさそうな感じなので使用は見送りました。(今なら AI にお任せすればできそうではありますね)